



『We♥鏡中』

令和7年 4月17日

☆彡「登校時の様子から…」

始業式から10日。あいさつ運動と横断旗を持って出入口に立っています。登校時の様子を見て、驚いたこと、感心したこと、課題と感じたこと等があります。

【驚いたこと】

- ・4/7の始業式の日、どこの誰ともわからないおじさんが横断旗を持ってあいさつしていると、約7割の生徒があいさつを返してくれました。すごいな～と感じるとともに、地域の方々にも同じように挨拶をしてくれていると良いなと思いました。
- ・入学式が終わり、今週からは約1500人の子ども（小中あわせて）が約30分間に登校道路を通学している様子は、事故が起きないのが不思議なほどの混雑ぶりに驚きました。工事で歩道も狭い上に、子どもを送ってこられた車が停まるなどして、混雑に拍車をかけています。ただ、通行している車の多くは、横断歩道を渡る生徒がいた場合に止まってくださるので、その事が救いだと感じています。

【感心したこと】

- ・小学生の弟妹と一緒に歩いて登校している中学生が多く、中には手を繋いで小学生を連れてきている生徒もたくさんいて、朝からほのぼのとした気持ちになります。その時の中学生の表情が非常に優しい表情で嬉しくなります。
- ・狭い歩道を歩く際、前に小学生（特に低学年）が歩いていて、小さな子なので歩くスピードも遅いのですが、後ろから来る中学生が、その小学生を急かすわけでもなく、小学生のスピードに合わせてゆっくり歩道を小学生の後ろから歩いてくる様子を見て感心します。
- ・4/17の朝、ランドセルの留め具が止まっていなかった小学生が頭を下げた挨拶した時に、ランドセルからノート等がこぼれ落ち、そのノートが溝に落ちたそうです。近くにいた小松主幹教諭がすぐに溝に降りてノートを拾ったところ、それに気づいた中学生が小学生に駆け寄り、声を掛けていました。状況を見て、小学生に声を掛けるという「気づき 考え 行動する」ことを中学生がと咄嗟にできたことが何より素晴らしいです。また、大人として後ろ姿を見せてくれた職員にも感謝です。写真は、溝から職員が上がってくる時の様子です。声を掛けてくれた中学生がその後ろに見えます。



【課題と感じること】

- ・自転車のヘルメットを持たずに自転車に乗ってきている生徒やヘルメットを被らずにかごに入れて自転車に乗っている生徒が若干名いました。声かけをしています。今年度から高校生であっても、福岡県立学校では、自転車通学の際には、ヘルメット着用が義務化されます。命を守るために何が必要かを、ご家庭でも再度お話ししていただきたいと思います。